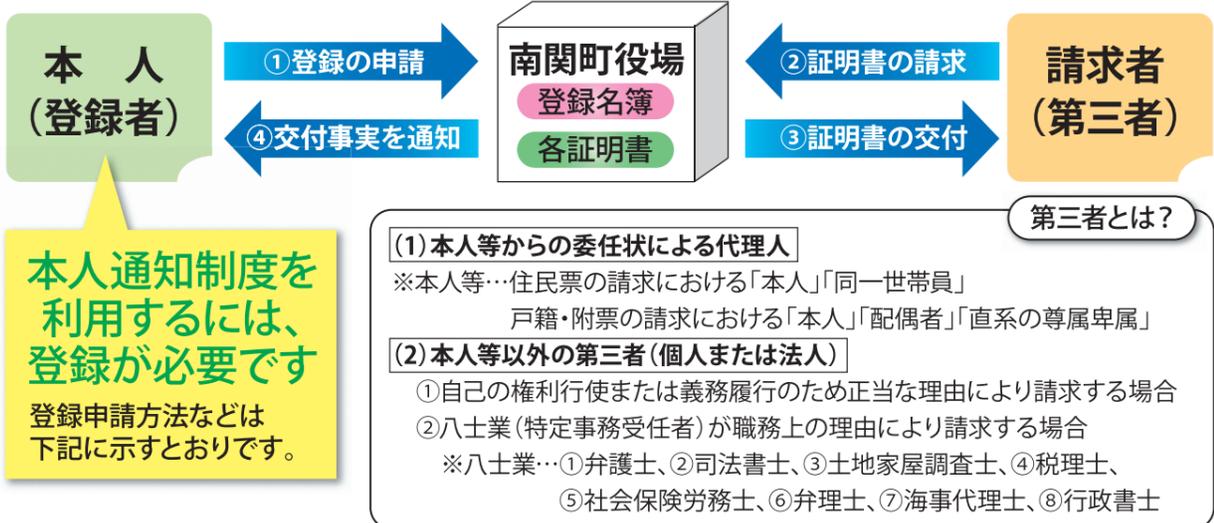




## 南関町では、 「住民票の写し等第三者請求に係る本人通知制度」 を実施しています

### ■本人通知制度とは

住民票の写しなどを第三者に交付した時に、事前に登録した人に、交付の事実を通知する制度です。この制度を実施することで、住民票の写し等の不正請求や不正取得による個人の権利侵害の防止が期待されます。



(注) 第三者から請求があった場合に、証明書を交付できないようにしたり、証明書の交付の可否を登録者へ事前に確認したり、誰が取得したかをお知らせする制度ではありません。

### ■通知の対象となる証明書の種類

<ul style="list-style-type: none"> <li>住民票の写し</li> <li>住民票記載事項証明書</li> <li>戸籍の附票の写し</li> <li>戸籍謄本、抄本</li> <li>戸籍記載事項証明書</li> </ul>	除票・除籍を含む	<<通知の対象とならない請求>> <ul style="list-style-type: none"> <li>本人等からの請求</li> <li>国や地方公共団体からの公用請求</li> <li>八士業が、裁判や訴訟手続き、紛争処理手続きの代理事務に使用するための請求</li> </ul>
--	----------	--

### ■登録できる人

南関町に住民登録または戸籍がある人(過去にあった人も含む)  
※死亡した人や失踪宣告を受けた人は対象外です。

### ■登録申請方法

必要書類をお持ちになり、窓口で「南関町本人通知制度登録申請書」に記入してください。

<b>必要書類</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請者の本人確認書類(運転免許証、旅券、個人番号カードなど)</li> <li>代理人による申請の場合…任意代理人は「委任状」、法定代理人は「戸籍謄本等」</li> </ul>
-------------	---

※次の場合は、郵送による申請も可能です。(申請書は南関町ホームページからダウンロード可)  
・病気等のやむを得ない理由で直接窓口に来ることができない場合  
・南関町以外の市町村に居住の場合

### ■登録期間

登録期間は、申請した日から3回目の9月30日までです。  
満了日までに廃止の届出がない場合は、登録期間を3年間延長します。(以後も同様)  
延長した人には、更新通知を送付します。  
※氏名や住所など登録内容に変更があった場合や登録を廃止する場合は、変更・廃止の届出が必要です。

問 税務住民課 住民係 ☎57-8502



## 新米を早く食べたい 四小5年生が稲刈り体験

第四小学校(坂本隆文校長)5年生12人は、9月28日、学校近くの水田で稲刈りを行いました。この日は保護者と学校応援団6人が参加し、児童に鎌を使って稲を刈り取る方法を教えました。指導を受けた児童たちは、鎌を恐々扱っていましたがすぐに鎌を使いこなし、手際よく刈り取っていました。稲を手と稲刈り機で刈った後、稲を一つ一つ丁寧に掛け干しをしました。打越陽向さん(下坂下)は「稲刈りは初めてだったから鎌を使ったときは緊張したけど、楽しかった。早く新米が食べたい」と笑顔で話しました。

## とっさの判断が命を救う

### 荒尾消防署が感謝状を贈呈

有明広域行政事務組合消防本部荒尾消防署(高木伸二署長)は9月23日、7月豪雨の際に、増水した水路に転落した男性を救出したとして永松一徳さん(小原)と永松修さん(小原)に感謝状を贈りました。一徳さんは7月6日、水路に架かる橋から転落した男性に気付き、修さんを応援に呼んで駆け付けて、岸にしがみついていた男性を2人で協力して引き上げました。高木署長が感謝状を手渡し、「豪雨の中、適切な判断と行動で尊い命を助けることができた。勇気ある行動に感謝します」とお礼を述べました。感謝状を受け取った2人は「川から引き上げるのは大変だったが、助けることができて安心した」と話しました。



感謝状を受け取った一徳さん(中央右)と修さん(中央左)



## 旭日単光章を受賞 柴尾俊寛さん

9月1日、柴尾俊寛さん(長山)が地方自治功労者として高齢者叙勲旭日単光章を受賞。10月7日に佐藤町長から勲記と勲章が伝達されました。柴尾さんは、昭和57年2月から平成10年までの16年間にわたり町議会議員として在職。昭和57年から8年間は文教厚生常任委員としてまた、平成2年から平成10年までの8年間は総務常任委員会委員長などを務め、町の発展に大きく貢献しました。勲記と勲章を伝達された柴尾さんは「名誉ある賞を受賞できともうれしく思う。議員在任中は先輩議員や同僚議員と話し合う機会が多く、とても忙しかったのを思い出します」と懐かしそうに話しました。

## 夏に会えるのが楽しみ

### 南関第二小学校

第二小学校(隈部孝二校長)の4年生15人は10月7日、久重の「ホテルの里公園」でゲンジボタルの幼虫約3千匹を放流しました。この取り組みはエコアくまもとを運営する公益財団法人熊本県環境整備事業団と建設会社の鹿島建設(東京)が共同で減少したホテルを取り戻すために始めました。今年の3月に児童が半年間育てた幼虫を放流しましたが、7月の豪雨で流された可能性もあり、さらに放流することにしました。児童は、ホテルの生態について説明を受けた後、鹿島技術研究所で育て、7月に孵化した約1センチの幼虫を放流しました。ホテルを放流した塚川流星さん(高久野)は「元気に育ってほしい。夏に会えるのが楽しみ」と話しました。



ホテルの幼虫を放流する児童